

# 温泉街活性化のため、温泉を活用した交流広場 “鶴のあし湯”を整備

いわき-1

常磐湯本地区

いわき市

いわき建設事務所

計画期間：H16～

## 地域づくりの方針

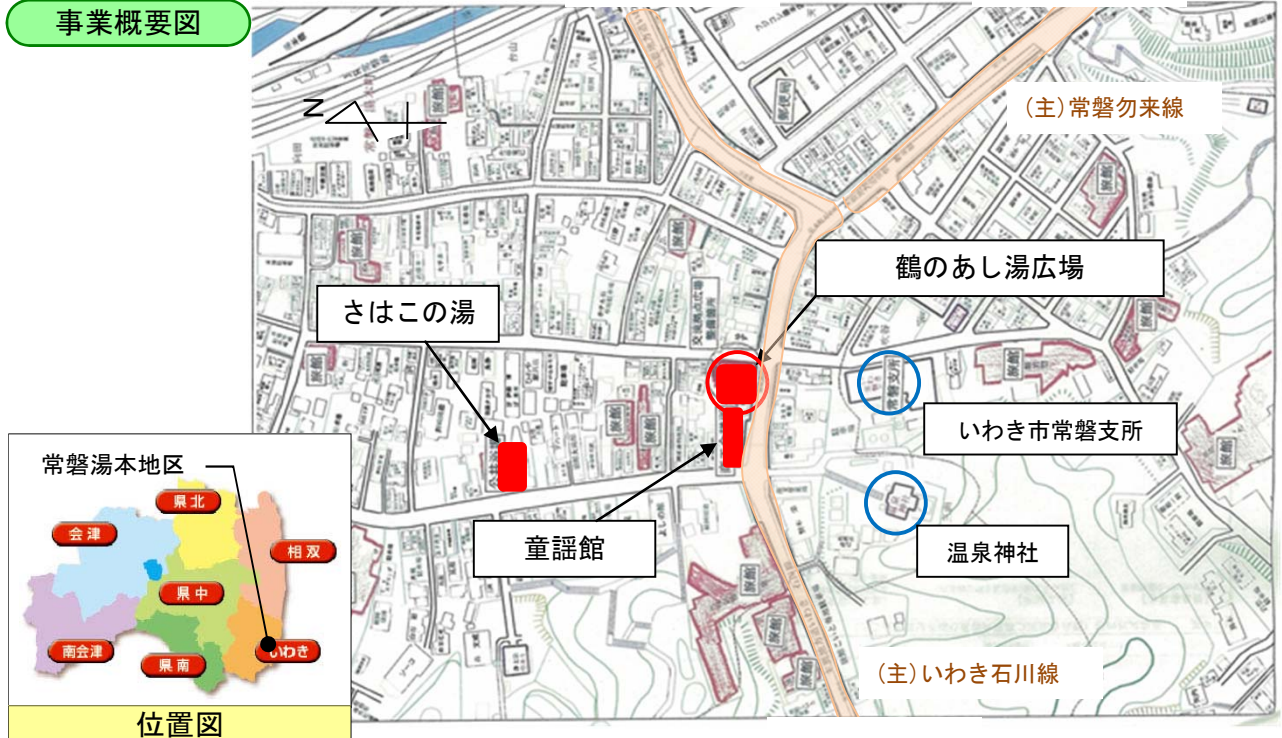
いわき湯本温泉、童謡（野口雨情）等の観光資源を活用し温泉街に憩いと潤いの空間を創出し地域の活性化を図る。

## 主な事業内容

地域の交流の場、癒しやくつろぎの場として提供するため、足湯としても利用できる  
**交流広場“鶴のあし湯”**  
を整備しました。



## 事業概要図



## 地域の現状

いわき湯本温泉は愛媛の道後温泉や兵庫の有馬温泉と共に「日本三古泉」と言われており、また、江戸時代には浜街道唯一の温泉宿場町として栄え、県内外から多くの来訪者が訪れるいわきの重要な観光拠点の一つとなっています。

地域住民の生活する場である中心市街と従来の温泉街とが一体となった街で、従来の商店街の空洞化も進んできており、また、近年の来訪者の減少等により、温泉街としての賑わいもあまり感じられなくなっていました。

## 地域づくりのあゆみ

- 平成15年 ・ “夢わくわくゆもと市民会議” が『常磐湯本地区ランドデザイン』を策定。
- 平成16年 ・ いわき市が『常磐湯本地区ランドデザイン』をもとにいわき市都市計画マスタープラン(常磐湯本地区まちづくり計画)を策定。  
・ “花と星の丘公園”を整備。  
・ いわき花と緑の会といわき建設事務所で、うつくしま道のサポート制度締結。
- 平成17年 ・ “鶴のあし湯”を整備。  
・ “鶴のあし湯”を愛でる会といわき建設事務所で、うつくしま道のサポート制度締結。
- 平成18年 ・ 常磐湯本地区についての意見交換を目的に“湯のまち懇談会”を開催。
- 平成19年 ・ 『常磐湯本地区ランドデザイン』の実現に向けた方策を検討するために“湯のまち懇談会”を開催。  
・ 地元団体主催による第1回フラオンパクが開催され、“鶴のあし湯”が開会式、閉会式に利用される。  
・ “鶴のあし湯”の隣に“童謡館”がオープン。
- 平成20年 ・ 『常磐湯本地区ランドデザイン』の実現に向けた方策を検討するために“湯のまち懇談会”を開催。  
・ 第2回フラオンパクを開催

## 地域づくりを進めてきた中での課題及び解決策

### (市担当者)

■住民が「ないもの」(不足しているもの・不満なもの)を意識するのではなく、「あるもの」(自慢できるもの)を意識できるような取り組みをすることが重要だと思いました。

## 実施した感想

### (県担当者)

■地域の人々が想像していたよりも、地域づくりに一所懸命である事とその行動力に驚きました。地域の方々は、色々なアイデアがっており、すごく参考になりました。色々な方から様々な刺激を受け、充実した日々でした。

## 元気づくりの立役者たち

温泉神社



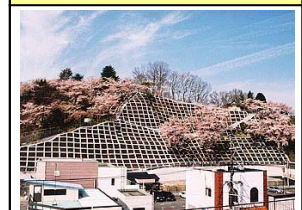
童謡詩人“野口雨情”



童謡館



御幸山公園



## 事業の効果

### ■常磐湯本温泉街回遊性の向上

- 温泉街を散策する宿泊客が増えてきており、散策の際、足湯が好評で、温泉街内にある3つの足湯をはしごする観光客が増えています。

(商工会議所からの情報提供)

### ■さまざまな地域活動の場として活用

いわきフラオンパクが開催され、開会式、閉会式で使用されています。また、“鶴のあし湯”を使ってイベントを開催する等、地域が考えていたイベントを実現するきっかけとなっています。

湯けむり縁日



いわきフラオンパク開会式



### ■多くの人が訪れ賑わいを見せる童謡館



### ■童謡館と一体となったおもてなし空間の創出

H19、12に“鶴のあし湯”の隣に地元団体が童謡館を整備しました。

H20にいわき市が間をつなぐための橋を整備したことにより、直接行き来ができるようになり、交流人口のさらなる拡大が期待されます。

### ■他地域との交流連携

事業をきっかけに事業実施地区である、常磐湯本地区、遠野地区、小名浜地区が地域連携について模索し始めました。

また今年度のフラオンパクは、本地区だけでなく、小名浜地区（エンディングのイベントは小名浜三角倉庫で開催）、遠野地区でも行われました。来年度は、この3地区だけでなく、いわき市全域で行う予定です。

### ■ふくしまの空(NTT東日本福島)

“鶴のあし湯”の状況をライブでご覧になることができます。

## 地域の課題・今後の展望

交流広場の改修、視点場整備に加え「フラオンパク」では「鶴のあし湯」を会場としたイベントを開催したことにより、多くの人に利用される交流と賑わいの拠点として活性が生まれています。

住民の高齢化を念頭におき、イベント開催や清掃活動を継続していくことで「自分たちが地域を守り、育てている」という意識をさらに高めるとともに、「他地域の活動を知ること」、「自分たちの活動を広く情報発信すること」により、魅力の再確認やモチベーションアップを図っていくことが重要です。

今後は、このポケットパークを中心に地域づくり団体の「じょうばん街工房21」や「ゆもとわくわく市民会議」を中心に地域の一体感を醸成しつつ来訪者へのサービス向上や湯本温泉郷の魅力をアピールし、来訪者の増加へつなげる地域づくりへの支援を図っていきます。

## 整備内容及び利用状況

### 交流広場整備“鶴のあし湯”



施工前



施工後

### 利用状況

- ・鶴のあし湯利用者  
平日：80～100人/日  
休日：150～200人/日  
H18.12.1～12.31：3,000人/月
- ・いわき湯本温泉観光客数  
H18 620,069人

### (利用者の声)

- 無料で、あし湯に浸かれるのが良いです。
- 地域住民のふれあいの場となり、地域活性化に繋がっています。
- トイレがないのが不便です。童謡館のトイレを使用することは可能です。
- あつ湯とぬる湯の間にある手湯から滴るお湯が座席を濡らし、約4人分のスペースが使用できません。

### 鶴のあし湯の利用状況



イベント開催時

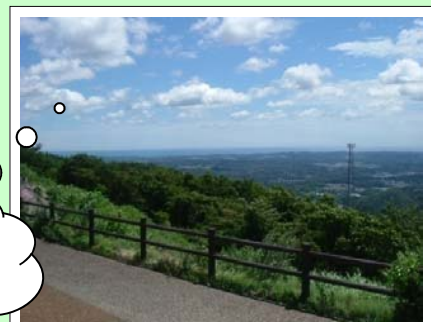
### 管理状況

“鶴のあし湯”を協働で管理するために“鶴のあし湯を愛でる会”が結成されうつくしま道のサポート制度を締結し、毎週木曜日に清掃が行われています。

### 公園整備“花と星の丘”



“花と星の丘公園”



“花と星の丘公園”からの眺望

湯ノ岳からの良好な眺望を目指して多くの方が訪れて

### 管理状況

“いわき花と緑の会”とうつくしま道のサポート制度が締結。

### 関係機関

- 福島県いわき建設事務所企画調査課
- じょうばん街工房21(商工会議所常磐支所内)

TEL：0246-24-6117  
TEL：0246-43-2757